

MASSIVE ACT



株式会社Massive Act

DX 推進ビジョン

代表取締役 高萩 遼介

2022年8月22日 策定
2022年12月12日 改定

当社は、創業以来「変革の起点を創る」をミッションに、マーケティング領域、特にデジタルマーケティング、DX事業において顧客企業の事業成長をデザインして参りました。このVUCA時代において、社会への更なる価値提供を目指しDXビジョンの制定を致しました。

DX推進として、顧客企業へのサービスレベル高度化は勿論のこと、社内DX、クラウド経営における事業体としてのDX化・効率化、DX人材の育成を推進していくことで、デジタルサービスを軸とした価値提供を持続可能なものにして参ります。

より良い未来を、一歩先の未来をデザインしていくため、全社一丸となってチャレンジして参ります。

2022年8月22日 代表取締役 高萩遼介

Agenda |

DX推進ビジョン

DX推進の取り組み-DX戦略と推進計画

DX推進の取り組み-推進計画と指標

DX推進の取り組み-DX推進強化における組織編成

DX推進の取り組み-環境整備の具体的方策

DX推進の取り組み-今後の情報発信

TAKE MASSIVE
ACTION FOR
A DYNAMIC FLOW

MASSIVE ACT
TAKE MASSIVE ACTIONS FOR A DYNAMIC FLOW



当社は大きく以下の3軸でDX推進を実現して参ります。

1

DX推進による 顧客企業へのサービス力強化

【1】既存サービスの強化

- ・ DIRECT MARKETING
- ・ BRAND MARKETING
- ・ MARKETING DX
- ・ GROWTH MARKETING

【2】共創型サービスの強化

- ・ DX ADVISORY
- ・ DX CONSULTING

【3】DX関連サービスの新規開発

- ・ BtoB向けDXソリューションの拡張

2

社内DX推進による クラウド経営加速と生産効率向上

【1】社内情報管理システムによる顧客プロジェクト情報の一元管理、クラウド管理による情報集約／統合速度／社内情報格差の是正と生産性向上

【2】業務管理ツール／システムによる業務生産管理と高度化・業務改善

【3】操作ログ・工数算出システムによる生産効率向上と業務均質化

3

DX人材・スペシャリストの育成

【1】DX技術の専門人材育成

- ① デジタル広告知見を保有する人材
- ② 広告データ基盤・広告システム知見を保有する人材
- ③ MAツール、CDP、クラウドツールの包括的なツールプランニング知見を保有する人材
- ④ 事業活動をデジタル化するためのDX戦略知見を保有する人材

主に社内DXテーマ②③を重点的に実施することでテーマ①の顧客企業へのサービス品質の高度化を実現致します。

DXビジョンに
基づく
推進項目

推進計画

DX戦略

① DX推進による 顧客企業へのサービス力強化

【1】既存サービスの強化

- ・ DIRECT MARKETING
- ・ BRAND MARKETING
- ・ MARKETING DX
- ・ GROWTH MARKETING

【2】共創型サービスの強化

- ・ DX ADVISORY
- ・ DX CONSULTING

【3】DX関連サービスの新規開発

- ・ BtoB向けDXソリューションの拡張

② 社内DX推進による クラウド経営加速と生産効率向上

【1】社内情報管理システムによる顧客プロジェクト情報の一元管理、クラウド管理による情報集約／統合速度／社内情報格差の是正と生産性向上

【2】業務管理ツール／システムによる業務生産管理と高度化・業務改善

【3】操作ログ・工数算出システムによる生産効率向上と業務均質化

③ DX人材・スペシャリストの育成

【1】DX技術の専門人材育成

- ①デジタル広告知見を保有する人材
- ②広告データ基盤・広告システム知見を保有する人材
- ③MAツール、CDP、クラウドツールの包括的なツールプランニング知見を保有する人材
- ④事業活動をデジタル化するためのDX戦略知見を保有する人材

業務プロセス管理ツールの活用、プロジェクト情報の一元管理を元にサービス品質の均質化とサービスの高度化、顧客満足度の向上に繋がります。

クラウドでの操作ログ・業務ログ・アクセスログを有効活用し、課題発見を効率的に実施し、無駄な業務工数を削減することで、1人1人の業務生産性向上と働き方改革及び多様な働き方を推進、従業員満足度の向上を実現致します。

高い水準でDX推進が出来るよう、計画的な社内人材の育成と資格取得を推進する事でのスキルレベルの見える化を促進します。

DX推進

DX推進項目①②③の指標は出来る限り定量化し、達成有無をモニタリングして参ります。

DXビジョンに
基づく
推進項目

推進計画

上記計画
達成時
の指標

① DX推進による顧客企業へのサービス力強化

- 【1】既存サービスの強化
 - ・ DIRECT MARKETING
 - ・ BRAND MARKETING
 - ・ MARKETING DX
 - ・ GROWTH MARKETING
- 【2】共創型サービスの強化
 - ・ DX ADVISORY
 - ・ DX CONSULTING
- 【3】DX関連サービスの新規開発
 - ・ BtoB向けDXソリューションの拡張

- 【1】既存サービスの強化
 - ・ 2023年12月までに既存プロジェクト満足度90%の達成
 - ・ 解約率0%の達成
- 【2】共創型サービスの強化
 - ・ 2023年12月までに既存プロジェクト満足度90%の達成
- 【3】DX関連サービスの新規開発
 - ・ 2023年12月までに3サービスの立ち上げ

② 社内DX推進によるクラウド経営加速と生産効率向上

- 【1】社内情報管理システムによる顧客プロジェクト情報の一元管理、クラウド管理による情報集約／統合速度／社内情報格差の是正と生産性向上
- 【2】業務管理ツール／システムによる業務生産管理と高度化・業務改善
- 【3】操作ログ・工数算出システムによる生産効率向上と業務均質化

- 業務効率改善（生産性向上）
 - ・ DX推進制定前の業務時間から年間で500時間の業務時間削減
 - ・ 働きがい・ライフワークバランスの社内エンゲージメントスコア80%以上の達成

③ DX人材・スペシャリストの育成

- 【1】DX技術の専門人材育成
 - ①デジタル広告知見を保有する人材
 - ②広告データ基盤・広告システム知見を保有する人材
 - ③MAツール、CDP、クラウドツールの包括的なツールプランニング知見を保有する人材
 - ④事業活動をデジタル化するためのDX戦略知見を保有する人材

- 人材育成
 - ・ 情報系資格取得者数3名
 - ・ ITパスポート試験の資格取得4名・受講推奨
 - ・ CRMツールの認定資格取得2名・受講推奨
 - ・ 当社規定のガイドラインを満たす人材数5名

2022年8月よりDX推進委員会を新設し、DX推進責任者のもと3つのチームを編成し、社内のDX化を推進すると共に、顧客企業へ最適なサポートを推進致します。

MASSIVE ACT

実務執行統括責任者 **代表取締役**

DX推進委員会

DX推進戦略を管掌/監査
KPIモニタリング

INTERNAL DX

社内DX推進チームー②社内DX推進によるクラウド経営加速と生産効率向上

デジタル技術やツールを活用した社内業務のDX化

- i) クラウド管理による情報集約/
統合速度/社内情報格差の是正と生産性向上
- ii) 勤務形態（オンサイト、オフサイト）による
提供サービスのギャップを改善する為の各種ビジネスツール活用
- iii) ビジネスプロセスの自動化(DX化)による
情報流通精度の向上と提供サービスの高度化
- IV) e-ラーニングの提供機会の充足化によるDX人材育成の加速 など

DX人材育成チームー③DX人材・スペシャリストの育成

- ・ DX技術に関する教育・人材育成
- ・ DX推進浸透の啓蒙活動・広報活動
- a) デジタル広告知見を保有する人材
- b) 広告データ基盤・広告システム知見を保有する人材
- c) MAツール、CDP、クラウドツール等の包括的なツールプランニング知見を保有する人材
- d) 事業活動をデジタル化するためのDX戦略知見を保有する人材

EXTERNAL DX

DX戦略チームー①DX推進による顧客企業へのサービス力強化

デジタル技術活用による顧客体験の最適化＝クライアントビジネスの成長支援を加速

- i) シナリオプランニングユニット
デジタル技術/データ活用による顧客体験価値を最大化・推進
- ii) クリエイティブストラテジーユニット
クリエイティブによる定性的な顧客体験価値を最大化・推進
- iii) CXM Center
データ観点、クリエイティブ観点の両軸による顧客体験を最大化・推進・研究

DX推進の各テーマにおいて、ツールやシステム環境を整備しており、一定の成果が見られていることから、更なるDX推進に着手し続け、より効率的な経営・環境整備を実現して参ります。

DXビジョンに
基づく
推進項目

推進計画

DX戦略

1 DX推進による 顧客企業へのサービス力強化

[1]顧客管理システムによる契約/営業情報を一元管理し、ご提案・企画等のデータを集約し、サービスレベルの品質を担保

[2]業務プロセス管理システムによるサポート提供範囲の充足化を実現、顧客満足度の向上に貢献

[3]RPA導入によりExcelデータからの脱却を推進し、顧客企業にリアルタイムにサービスの数値連携を実現しています。

2 社内DX推進による クラウド経営加速と生産効率向上

[1]クラウドサーバーに社内業務データを集約/統合・一元管理する事により、情報取得の速度とデータの共有工数の削減、社内情報格差の是正に寄与

[2]アクセスログ・操作ログ・業務時間計測ツールによる細部の業務工数の可視化に成功、無駄工数や無駄なワークフローの是正に寄与

[3]マニュアル化ツール導入による属人的な業務の切り出し、業務の平準化に寄与。

[4]自動化ツールの導入・自動化システムの開発により手作業の業務から業務自動化に移管する事で、業務の正確性向上と大幅な工数削減に寄与。

3 DX人材・スペシャリストの育成

[1]人材育成計画に沿った教育環境の整備
ー社内ノウハウ共有ツール導入におけるオンライン学習機会の拡大

[2]テーマ②の社内業務データ集約における業務アクセススピードの加速

[3]情報セキュリティマネジメント試験の資格取得・受講推奨

[4]ITパスポート試験の資格取得・受講推奨

[5]CRMツールの認定資格取得・受講推奨

◆全社共通

リモートワーク・サービスのリモート提供環境の整備

- ・WEB会議ツールの導入による場所を選ばないコミュニケーション環境の確立
- ・チャットツール活用を基本とした業務整備による社内外コミュニケーションの敏捷性及び情報鮮度を担保

今後もDX推進の状況につきまして、当社ホームページの「DX推進の取り組み」として、随時公開して参ります。

現在当社では、自社での自動化ツール開発、及び各種ITツールの導入による「超効率経営」を目指し、情報処理における環境整備に取り組んでおります。

一定の成果として、業務時間の削減、業務生産性の向上が挙げられますが、DX推進においては目的ではなく手段として捉え、現状の取り組みに満足する事なく、PDCAを高速で回し続けることが重要と考えております。

「Eat your own dog food」を全社共通意識として持ちながらも、自社でのDX成功体験やフレームワークを顧客企業へ提供し、適切な意思決定のご支援と、顧客企業が保有するデータ分析を元に活用余地の議論、事業成長の起点になるべく注力し続けて参ります。

今後もDX推進の状況につきまして、当社ホームページの「DX推進方針における指標のモニタリングについて*」として、随時公開して参ります。

*当社ホームページ：DX推進方針における指標のモニタリングについて

<https://massive-act.com/news-topics/corporate/2237/>